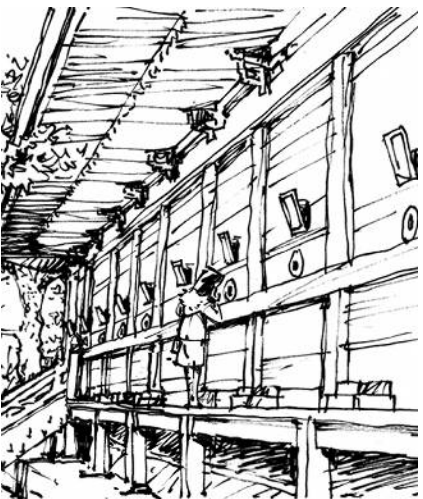


廣峯ものがたり（一月）
九星守護神と裏参り

「九星詣り」

神社へ参拝すると、お賽銭を入れて鈴を鳴らし、お願い事だけをするという方って多いですよ。お願い事をする前に、まずは日頃の神恩に感謝申し上げてから、お願い事を祈るのが正しい参拝の作法ではないでしょうか。神社によつては表参りで神様に感謝し、裏参りで祈願するというところもあり、廣峯神社ではこの裏参りのことを『九星詣り』と言います。と神主さんから教わりました。

この九星詣りについて伺いますと、廣峯神社の本殿裏には、願いが叶うと言われる九つの穴があり、それぞれの穴には、一白水星から九紫火星までの九星の守護神が鎮座されていて、自分の生まれる星の守護神が鎮座する穴に向かっ



て祈願ごとを囁きかけるといふ参拝を九星詣りと言い、この作法は昔から行われているそうです。

九星は、陰陽道において人の万象の運命変化、性格・家相の吉凶を判断するものとして知られ、神社のこよみにもその年の運勢などが紹介されています。

最近では、九星祈願札と九星御幣、九星守りを合わせた九星詣りセットも授与されていて、その人氣は高く、団体旅行者の間ではちよつとしたブームになっているようです。

初詣に、こよみの神様を祀る陰陽道縁の廣峯神社へ参拝して、九星詣りで新年をぜひとも良いとしにしたいと思えます。